

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻



## ■ サイエンスコミュニケーター養成副専攻とは

急速な科学技術の発展に伴って、一般社会では原発、地震対策、遺伝子組換え食品、感染への対応などに対して、誤認識による過度の不安や敬遠、そして過激な賞賛などが発信され、一般の人々がどう対処していいかわからないという状態に陥ることが多くなっています。このような時代に必要なのは、しっかり科学を理解して自分で判断する能力のある人材の育成です。科学リテラシーを持たない人々が増えることによる経済的損失も大きく、社会の隅々にまで科学を理解する人を養成することが、今後の我が国の将来を左右するといっても過言ではありません。

同志社大学では、学部生を対象に文理を横断するサイエンスコミュニケーターを育成することを目的として、関西で初めての副専攻を立ち上げることにしました。

本副専攻では、科学技術に関する基本的な知識を学ぶとともに、将来のキャリアパスを広くとらえ、新聞・放送などのメディア・教育界・産業界・官庁・病院などからも講師を招くとともに、ビジネスワークショップ、メディカルワークショップと題して社会に出かけて、科学技術やその情報発信に直接関与する人たちとの討論などを行うことも重視しています。

### ● 2021年度主なワークショップ体験先

(株)島津製作所／(株)読売新聞社／(株)毎日放送／讀賣テレビ放送(株) (YTB)／京セラ(株)／タカラバイオ(株)

## ■ 修了要件

● 修了必要単位数：20 単位

| 履修体系   | 必要単位数   |
|--|---|
| サイエンスリテラシー科目群  | 12 単位以上<br>※自由科目扱い<br>(卒業単位に含まれない)<br>→ただしサイエンスリテラシー科目群から 12 単位以上を履修した場合は選択科目Ⅱの単位として算入する。(卒業単位に含めることができる) |
| コミュニケーター関連科目群<br>※各選択グループ(選択(1)～選択(4))から算入されるのはグループごとに上限4単位まで。 | 8 単位以上  |
| 選択(1)【生命系】   |   |
| 選択(2)【文・社会・心理系】  |   |
| 選択(3)【法・政策系】   |   |
| 選択(4)【経済系】   |   |
| 合計   | 計 20 単位以上   |

## ■ 履修にあたって

- ・サイエンスコミュニケーター養成副専攻は 2 年次生以上より申請が可能です。
- ・本副専攻の履修を希望する場合、指定の期日までに、社会学部事務室に申請書の提出が必要となります。  
申請者が多い場合、選考のうえ、副専攻履修可否を決定します。



申請書に必要事項を入力し、以下の日時までにメール添付にて提出してください。

提出締切日：2月11日(金) 17:00 まで

提出先アドレス：shakaigakubu@mail.doshisha.ac.jp

※可否結果は DUET にて 3 月中旬までにお知らせする予定です。